

山梨県テニス協会創立50周年によせて



山梨県小中学校体育連盟テニス専門部
部長 向山和徳

山梨県テニス協会が創立されて以来、年々発展を遂げられ、ここに50周年の記念すべき年を迎えられましたことは、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

山梨県小中学校体育連盟テニス専門部は、平成3年に創立されました。関東では東京に次いで2番目の加盟県として、平成4年に白根巨摩中学校（監督は小林先生）が、平成17年には山梨英和中学校（監督は土屋先生）が、全国中学生テニス選手権大会（全国中学生テニス連盟主催）に出場しています。創立当初3校だった加盟校（白根巨摩中学校・甲府南中学校・山梨英和中学校）も現在では、男子13校・女子15校となり学校教育の部活動として日々活動しています。また季節部も含めると男子30校・女子31校となり、部員数は男子470名・女子370名の合計840名になりました。

私たち県小中学校体育連盟テニス専門部では、県中学校テニス選手権大会（5月）・県総合体育大会（7月）・県新人テニス大会（10月・11月）を開催しています。大会の運営にあたり、山梨県テニス協会のさまざまな支援もいただきながら開催できることを有り難く思っております。私自身もこの大会の運営に携わって、早5年経ちましたが、その規模は、設立当時に比べてもかなり大きなものになってきました。これも、県テニス協会及び県テニス協会ジュニア委員会（委員長は富岡好平）の常日頃の普及活動及びチャレンジテニス大会の成果であると思っております

県内の中学生は近年競技力が上がっており、全国大会で活躍する選手が多くなってきました。県小中体連テニス専門部や山梨県テニス協会に関わる多くの方々の日頃の熱心な指導よるものだと考えています。今後は、これ以上の成績を目指し、山梨県全体のテニス競技のレベルアップ及び普及活動をしていくことが県小中体連テニス専門部の大きな課題だと考えています。

最後に、この50周年を契機とし、山梨県テニス協会のさらなる飛躍が遂げられんことを祈念しまして、お祝いの言葉としたいと思います。